

「こどもまんなか社会」に向けた
高校生ワークショップ
【実施報告書】

令和6年6月

目 次

1	高校生ワークショップについて.....	1
	(1) 実施の目的.....	1
	(2) 実施の概要.....	1
	(3) 実施プログラム.....	2
2	各グループ意見まとめ.....	3
	(1) Aグループ.....	3
	(2) Bグループ.....	5
	(3) Cグループ.....	7
	(4) Dグループ.....	9
3	全体意見の集約結果.....	12
	(1) 家庭について.....	12
	(2) 学校について.....	12
	(3) 社会について.....	12
	(4) その他について.....	12
4	参加者アンケート結果.....	14

1 高校生ワークショップについて

(1)実施の目的

「こどもまんなか社会」に向けた高校生ワークショップ」は、令和7年度を初年度とする安城市こども計画の策定にあたり、高校生が感じている身近な課題や市への意見・要望等を収集するとともに、こども・若者の意見を計画に反映するための基礎資料を得るために実施しました。

(2)実施の概要

ワークショップの実施概要は次のとおりです。

区 分	内 容
募集方法	安城市内の高校等に通学する生徒を対象に、高校等を通じて募集
参加人数	高校生 24 人
実施期間	令和6年5月26日（日） 13時～15時半
会場	安城市民会館 大会議室

こどもの権利や安城市の未来について話そう
**「こどもまんなか社会」のための
 高校生ワークショップ**

安城市では、現在「安城市こども計画」をつくっています。この計画は、こども・若者への支援や貧困対策、少子化対策など、こども・若者の皆さんへの支援を含んだ計画で、令和7年度から開始する予定です。

そこで、計画づくりに生かすため、当事者である高校生みなさんの声を聴くワークショップを開催します。難しい話はありません。ふだん高校生のみなさんが考えられていること、自分たちが困っていること、こうなったらいいなと思うことについて、意見を聞かせてください。

開催日
 令和6年 5月26日(日)
 午後1時～午後4時予定

開催場所
 安城市民会館
 大会議室

私たち、こんなことに困っている
 安城市がこんなことに困っている
 大人に言いたいこと、お願いしたいこと
 こどもの権利は守られているかな？
 こんなサポートがあればいいな

ワークショップで何をやるの？

STEP1 「こども基本法」って何だろう？
 こどもや若者が自分らしく暮らすために成長でき、暮らせるように、「こども基本法」ができました。ワークショップを始める前に、「こども基本法」や「こどもの権利」についてみんなで見学しよう。

STEP2 身近なところから考えよう！
 みなさんは普段自分たちの権利が守られている、大切にされていると感じますか？身近なところから、気になる点について考えてみましょう。そして大人や安城市にならなくてほしいというアイデアについて意見交換しよう。

ワークショップで出された自分たちの意見はどうなるの？
 「安城市こども計画」をつくるために活用します。

令和7年度から開始する「安城市こども計画」をつくるために生かします。この計画は、こどもや若者、子育てをしている人たちの支援の方向性を総合的に取りまとめたもので、子育て支援や若者支援、教育関係者などで構成する会議や市役所内で話し合いながらつくります。その時に、みなさんが出されたこども・若者の当事者としての意見を参考にさせていただきます。

主催：安城市子育て支援課 子育て支援課 子育て支援課
 電話：0564-71-2221 / 電子メール：shien@city.anaka.lg.jp
 実施協力：(株)サイバーインターナショナル総合研究所 東海支社

安城市こども BOOSTERS
 2024.05.26



当日会場

募集チラシ

(3)実施プログラム

ワークショップの当日の流れは次のとおりです。

区 分	内 容
開会のあいさつ	事務局より開会のあいさつ（子育て支援課長）
ワークショップ概要説明	実施目的、こども計画についての説明
こどもの権利・こども基本法についての共有	「児童の権利条約」や「こども基本法」についての理解を深めるための共有 <ul style="list-style-type: none">・こどもの権利について・こどもを取り巻く問題について・こども基本法の概要について・こども、若者の意見表明の権利等について
グループワーク	4グループに分かれ、「こども・若者の権利が守られていないと思うことや、身近なところで課題だと感じる事、こうなったらいいなと思っていること」について、『家庭』『学校』『社会』『その他』の4つの区分で意見出しとグルーピングを行う。 最後に、安城市や大人たちに言いたいことを一言メッセージで集約してまとめる。
グループ発表	グループごとの検討内容を発表し、全体で共有する。
閉会	事務局より閉会のあいさつ（子育て支援係長）

2 各グループ意見まとめ

(1)Aグループ

市や大人へのメッセージ

幸福感と満足感が平等に受けられる社会



家庭

- 私の意見を聞かないで、勝手にきめつけて話を進めないでほしい。
- 生徒が一番に目指す進路を大人(先生)にうちあけることができる場がほしい！
- 親に意見してはいけなとか、親がつくった道を歩くなどの強制。
- 国公立大ばかりを推さないでほしい。
- 公立と私立で費用を統一してほしい。
- 公立と私立いろいろと(設備、学費等)同じくらいのレベルにしてほしい！

学校

- なくてもいい校則をなくしてほしい！
- 校則を緩和してほしい(スマホ)。
- 先生によって身だしなみの厳しさが違う。
- 寄り道をOKにしてほしい。
- 小学校のときにシャープペンを使いたい！
- 学校指定の靴、靴下、色などを指定してくるのはどうなのか？
- グループワークが少ない、増やしてほしい。
- 学校でも、月一くらいで給食を食べたい！
- 大人になってから活用できる知識を小学校から学ばせてほしい！
- 専門のコースに入ってなくても、希望した人が行事に参加できるようにしてほしい。
- 心理カウンセラーさんが来る機会を増やしてほしい。
- 席替えをするときに、話したことがない子に囲まれたり、しないようにしてほしい。
- 学校でほかの学年の人ともっと関わって仲良くなりしたい。

学校

- 気軽に話せるような空間がほしかった。
- タイピングを小・中学校の頃から授業の中でやってほしい。
- 高校を地区だけで絞らないでほしい。

社会

- SNSを使う歳をもっと上げてほしい。
- 学歴での人の判断がとともよくある。
- 仕事量に対して給料が少ない。
- 学校間の or 若者だけのSNSをつくってほしい。
- 表情から感情を読み取れるAIを学校や会社などに設置して、悩みを抱えきれなくなる人が出る前に助けられるような取り組みをしてほしい→AIをもっと活用してほしい！
- ファッションなどでいろいろダサイとか言われる。
- 当事者同士が話し合える場を増やしてほしい！SNS。
- 保育園、幼稚園をもっと豊かにしてほしい！（先生への配慮、おもちゃ etc.）
- 使わなくなった物や服を回収できる場を増やしてほしい！
- 同じ価値観をもっている人たちと悩みを共有できる場所がほしい！
- 悩んでいる人や精神の病にかかっている人たちが、もっと生きやすくなれるようにしたい。
- 差別がなくてみんなが受け入れられる社会になってほしい。
- 困っている人たちを優先して税金を使ってほしい！
- 北側の安東付近もっと栄えてほしい…。
- あんくるバスの時間を増やしてほしい。

その他

- 第三の居場所をアピールする。
- 使われない場所の活用、もしくは無くす。
- 自動販売機で購入する際にICカードやアプリで払えるところを増やしてほしい。
- スポーツクラブの活性化、地域との交流。
- 地域、行政、学校等の連携をもっとしてほしい。
- 入院中にも交流を（リモートなど）。
- 公園の遊具を使える年齢を上げてほしい。
- 公園に防犯カメラを設置してほしい！（もう少し増やしてほしい）

4テーマ共通

- ★学用品などの必要な物品の価格を一定にしてほしい。（物価の高騰などを背景に）

(2)Bグループ

市や大人へのメッセージ

どんな天気でも静かに勉強したい人も楽しく会話したい人も
無料で使えるスペースを！



家庭

- 進学先の費用の関係で、行きたい進学先が限られてしまう。
- 兄弟で比べられることがあり、一人ひとりを見てほしい。
- 受け入れようとしていた自分のコンプレックスを親に言われた。
- 過保護な親に対して、少しは自由にしてほしい。
- 自分がしている事に口出しされる。

学校

- 不登校の子が学校に通えるように、不登校の子に向けた特別教室をつくってほしい。
- 第三の制服について、生徒が求めていたものとは少し違う。
- 学校によって校則が違い、他校との差が大きいため、学校の校則について生徒の意見を先生に聞いてほしい。

【制服】

- 男女での制服の違い。
- 男女の頭髪検査の甘さが違う。
- 男子の制服の着崩し(腕まくりOK、ネクタイなくてOK)はいいのに、女子の制服の着崩し(第1ボタンつける、リボン絶対)は厳しく見られる。
- メイクダメ、髪を巻くのはダメ→個性が出せない。

【意見】

- 例えば、安城東では体育館が雨漏りするけど、全然直してくれないから滑ります。子どもが安全に生活するためにしっかりお金を使ってほしい。
- 先生と生徒会の話し合いではなく、生徒と生徒会の話し合いを充実させると、校則改善に繋がりやすい。
- 学校で決められていることは守ってほしいし、部活の予定に生徒の意見を反映させてほしい。

学校

- 生徒会は毎週水曜日の授業後に集まっている。→意見はかなり反映されていると思う。生徒の意見がどの学校でも反映されたらいいなと思う！
- 部活、生徒自身の意見を尊重してほしい。私の友達の部活の話、一番上手い子だけに優しくしたり、部活を辞めたくても辞めづらい環境下にあったり、部活の予定が直前でプライベートが充実しきれなかったり…。
- 校則について、生徒の意見がなかなか反映されず、生徒間で文句が積もっていく。
- 自分のしたい事を提案した時に、理由も言われず否定された事があるので、しっかり納得できる説明を子どもに対してしてほしい。

社会

- 医療従事者で働く人が人手不足なので、医療面での取り組みをしてほしい。
- 社会制度について知るのが遅いため、大人になっても知らないことがたくさんある。
- 安楽死制度が導入されていない。

その他

- 公園でボールが使用できない所があるので、もっと自由に使える場が増えてほしい。
- 公園にもっとごみ箱がほしい。
- 子ども会へ参加する人が減っているため、もっと楽しい企画を子ども会でしてほしい。
- 雨の日だと、話したいだけ等の時に過ごすスペースに困ってしまう→カフェなどもあるけれどお金がかかってしまう→雨の日でも室内で話せる無料スペースがほしい！

【学習スペース】

- 静かに勉強できるスペースと友達と話して勉強できるスペースが、しっかり分かれている施設がほしい。
- 勉強スペースがほしい！→なくはないけれど、図書館やカフェなど堅苦しい空間や長時間はあまりいられない場所ばかり。ららぽーとのフードコートは勉強もできるような空間なので、気軽にいれるような友達と話せるような空間が近くにほしい。

【バス】

- 全年齢対象の無料バスがあると使いやすい。
- あんくるバスについて、高校生は無料の券をもらえないこと。

(3)Cグループ

市や大人へのメッセージ

子どもを尊重するための投資



家庭

【親への不満】

- 親が人の話を聞かない。
- 好きな事をやらせてくれない。
- 門限に厳しすぎて嫌だ。
- 学校の集まりだと言っても、どこにいるか報告しても信じてもらえない。
- 自分の成績が上がったのに何故か、姉に1万円のCDプレイヤーを買って、自分は当時集めていたカードを全部捨てられた(カード全額5～8万弱)。

学校

【学校生活】

- 受験課目で使わない教科を勉強させてくれる。
- 部活時に体育館が使えなかった。
- フラワー科が、ほぼ学校を無視してソバの木を植えた。
- 職員室のシンク掃除←自体はいい、先生たちが綺麗に使ってくれない、指摘されても直されない。
- 教師に政治的な考え方を話してほしい。
- 先生が生徒をけなすような授業、不快になるような授業をしないでほしい。
- 自称進学校と言われると、進路で好きなところに進みにくい。
- 生徒の意見を取り入れようとしない。生徒会が校則に触れなくて、変えることが難しい。
- 先輩たちのやらかした罪を「あなたたちもやるかもしれないから」となんでもダメダメって縛ってしまうような校則…。
- 先生の働き方改革→部活縮小、部活やりたい。外部からの指導者をもっと取り入れる。
- 学校、夢を否定しないでほしかった。あなたの性格や見た目じゃ無理だから、違う夢にきなさい。

学校

○学校の体育館が個人で利用しづらい→団体登録しないと使えないから、簡単にしたい事
ができない。

○先生が虐待された子を卑下した発言をしないでほしい。

【校則について】

○体操服でも登校させてほしい。

○在学中に免許証を取るのが禁止なのが納得いかない。

○校則を統一させてほしい(バイト、服装など)。

○バイトをOKにしてほしい。

○男の子の髪型だけ耳にかかっちゃいけないこと。

○中学の時に髪の毛を結ばなければならないという校則に従いたくなかった。

○クールビズがない。

社会

【子どもの意見】

○社会の仕組み、制度を調べてもわかりにくい(PDFとか)。簡潔にわかりやすくしてほしい。

○私達子どもの意見が社会に届いていない気がする…。

【無償化】

○子ども1人でも大学無償化、そもそも子どもが3人の家庭が少ない。

○高校生も医療費無償化←良いと思う、教育にも取り入れてほしい。

○大学の学費を安くしてほしい。

○託児所を増やすべき、共働きが増加している→働き手少ない→高齢者に協力してもらおう。

○自転車通学が多い←市民からのクレームが多すぎる。専用道路?通路をつくる。

その他

【相談所が欲しい】

○人間関係で悩んだら三河安城の美容院の店長に相談に行く。

【憩いの場の増築】

○公共施設を使いたいけど、同級生や先輩後輩がやらかして出禁になりかけている。

○バスケットコートが少ない、遊べる場所がダメ!

○若者向けの施設などを増やしてほしい(スポーツできる場所)。

○遊べる場所が少ないこと。

○遊び場が少ない、大きな公園がない。

(4)Dグループ

市や大人へのメッセージ

わたしたちの意見をきいてください！



家庭

【勉強】

- どんな成績をとってもきちんと褒めてほしい。
- 勉強をやれやれじゃなくて、自分のタイミングでやりたい。

【親への不満】

- 子どもに無関心な親。
- 両親が忙しい→1人。
- 窓の車に頭を挟んだ子。
- 子どもの前で喧嘩しないで。

【兄弟関係】

- 兄弟よりも少し頭がいいだけで、良い大学に行けてと言われる。
- 親とはコミュニケーションを取れるけど、姉妹とはけんかばかりでコミュニケーションをとれない。

学校

【先生】

- 先生から成績下げるぞ！と言われると何も言えなくなるからヤダ。
- 先生によって言う事が違う。
- 一生徒に頼りすぎ。
- 先生に頼れない雰囲気。
- 教育相談(面談)を強制しないでほしい。
- もう少し就職希望の人に寄り添ってほしい。
- 少数派の意見があまり聞かれない。

【要望】

- 教室にゴミ箱を置いてほしい。

学校

- 文化祭と体育祭を同じ時期にやらないでほしい。
- 学校で使っているタブレットを持ち帰れるようにしてほしい。

【校則】

- 欲しいものがあるけど、お金がないからバイトを許してほしい。
- 生徒が校則を守らない→守っている人が損。
- 体操服のデザインを変えてほしい。
- バイトをできるように。
- 授業中スマホ使わないから、職員室に預けるのはヤダ。
- 靴下とローファー指定ヤダ、いらないと思う、校則はなくしたい。

社会

【SNS】

- 小学校低学年くらいの子がスマホ持っているとはびっくりする。
- SNSありきの連絡は嫌！
- SNSでよくひどい言葉を言っている人いて、よくないなと思った。
- SNSに理解ある大人が増えていって、逆に子どもが外で遊ばなくなっちゃったりしそう。
- ネットの使い方指導。

【援助】

- 学費の支援。
- 悩みが言える人がほしい。
- どんなジャンルの悩みを全部相談のってくれる人がほしい(友達に言えないこととか)。
- スクールカウンセラーがあつて良いと思うけど、周りからの反応や周りからの目を気にしちゃう子もいる。

【差別】

- 悪い意味で社会が子どもに甘い。
- 差別でとやかく言われる事がまだある。
- 弱い子ひいき。
- 男女兼用トイレを増やしてほしい。

【政策】

- 補導されるのを12時からとかにしてほしい。
- 車に乗りたい、運転したい。
- 自転車用の道を道路につくってほしい。
- 古びた公園ばかりで子どももいないし危ない！
- バイクがうるさくて寝れない…。

その他

【公園】

- 公園しかなくて地元で遊べない。
- 公園で遊んでいるとクレームを言ってくる人がいて、公園を使えない。
- 公園でのボール遊び×、なぜ？
- 子どもの声が迷惑、なぜ？

【勉強施設】

- 近くの図書館がなくなった。
- 学生が自由に勉強できる施設を増やしてほしい。
- 絵本、漫画～論文まで！
- 席数が多い。

【治安】

- 街灯が少ない。

3 全体意見の集約結果

(1)家庭について

- 「家庭」に関する意見は4グループ合わせて24件ありました。
- 意見内容では、行動を制限されることなどから（門限や過保護すぎること等）信用してもらえないと感じていることに関する意見や、話を聞いてほしい・認めてほしい・ほめられたいなどの、子ども自身に関心を持って接してほしいという意見が多くあがっています。
- そのほか、きょうだい間での比較や対応の差に関することや、進路に関して自由に選択させてほしいという意見も複数みられています。

(2)学校について

- 「学校」に関する意見は4グループ合わせて66件ありました。意見内容で最も多かったものは校則に関するものとなっています。
- 校則に関する意見は、制服や頭髪、身だしなみに関する校則に対し、個性を出したい、おしゃれを楽しみたいという意見が多く出されています。校則のあり方そのものに対する意見として、生徒の意見を反映させてほしい、生徒と生徒や生徒と学校間での意見交換が必要ではないかという意見もあがっています。
- また、校則に限らず、先生や部活動、進路選択などの機会においても生徒の意見を反映してほしいという意見や、少数派の意見の尊重、気軽に話せる空間が欲しいといった、学校に対する子ども自身の意見を聴く機会の充実を求める意見も多くあがっています。
- そのほか、不登校などの子どもへの対応や学校施設の改善、教育内容の充実などに関する幅広い意見が出されています。

(3)社会について

- 「社会」に関する意見は4グループ合わせて44件ありました。
- 意見内容で最も多かったのは、スマートフォンやSNSに関することとなっており、利用の低年齢化や利用しすぎることの問題点についての意見が多くあげられています。
- 悩みを共有できたり、友達に言えない相談ができたりする等の、話し合い・相談ができる場や人を求める意見も複数みられました。
- そのほか、学歴や見た目等で差別されたり、区別されることに対する問題提起や学費等の経済支援、子育て支援を求める意見があげられています。

(4)その他について

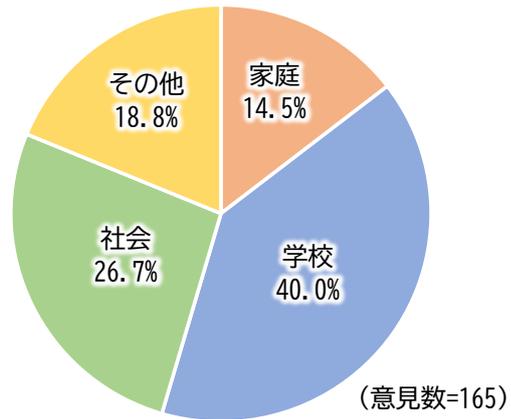
- 「その他」は、地域、居場所、家庭や学校以外の場（塾やスポーツクラブ等）に関する意見です。「その他」に関する意見は4グループ合わせて31件ありました。
- 意見内容で最も多かったのは、公園などの遊び場の不足に関することとなっています。ス

スポーツができる場、広い公園等を求める意見が多くあがっています。

○居場所に関しては、勉強できる場、友達とおしゃべりができる場など、様々な用途で自由に過ごせる居場所が求められています。

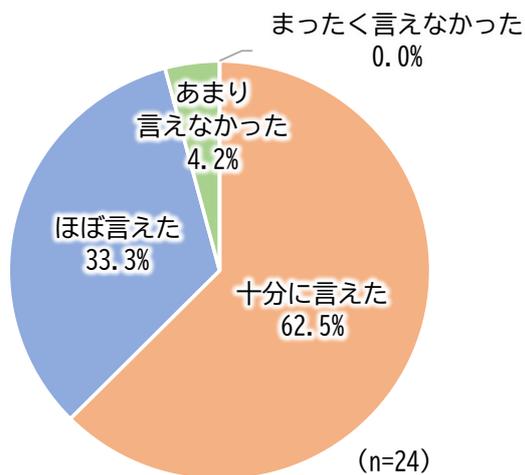
○そのほか、街灯や防犯カメラの設置など地域の安全確保に関すること、あんくるバスに関すること、地域のスポーツクラブや子ども会等の地域活動に関する意見が出されています。

■意見数のカテゴリ別割合

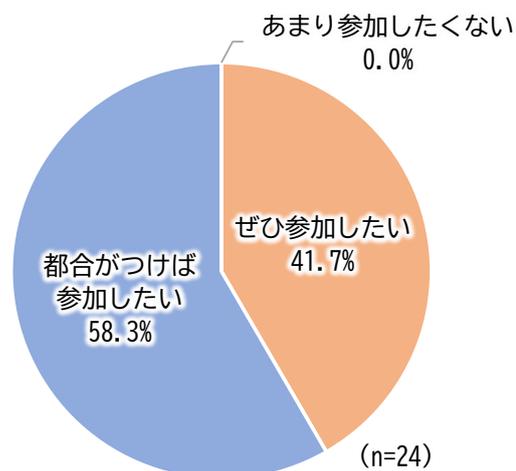


4 参加者アンケート結果

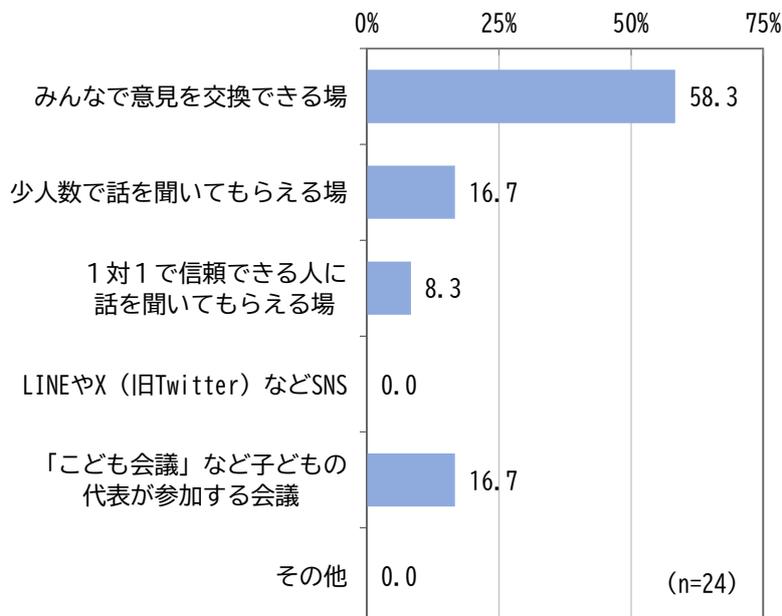
Q1. 本日のワークショップでは十分に意見を言えましたか。



Q2. 今回のような、行政などに意見を言う機会があれば、また参加したいですか。



Q3. 行政などに意見を言う機会として、次のどれが一番参加したいですか。



Q4. 本日のワークショップで言い足りなかったこと、特に市や大人に言いたいことなどがあれば、ご記入ください。

区分	意見内容
意見交換の場 (5件)	全ての世代が平等に幸せに生きられる社会になってほしいと思いました。また、子どもが意見を言える機会をもっと増やしてほしいと思いました。
	こういった子どもや若者たち同士が意見を交換できたり、話し合える場が増えれば、満足のできる生活を過ごすことができると思いました。
	もっと今日みたいな機会が増えてほしいと思いました。いろんな人の意見を聞くことができ、新しい発見・気づきがたくさんあってとても新鮮だったし、楽しかったです。
	こういう話し合いの場があると普段あまり社会の話題に関わらない人も意見を出せるので、こういった場をもっと作ってほしいです。
	子どもたちの意見を聞いたりする時間や機会を設けてほしい。また、学校生活をのぞいてみる等して、子どもに寄り添ってほしい。
新たな話し合いの場 (3件)	Q3について、今回のような高校生が集まった話し合いもまた参加したいですが、様々な年齢層の方々を集めた話し合い、意見の交換もしてみたいと思いました。他校との関わりをもつ事がなかったので、別の形でもぜひ関わりたいと感じました。
	親・大人になるにあたってのミーティング等があってもほしいと思いました。子どもは大人に守られているので本当に大人を頼りにしています。SNSについてはよく考えてほしい。
	なぜ校則をなくしたいか、バイトをしたいかなどもう少し掘り下げて話し合いをしてみても良いと思った。課題を決めて「学校」「社会」などに分けて意見を出していった方が細かい意見が聞けると思う。制度と仕組みを分かりやすくまとめたものがほしい(安城市の政策など)
ワークショップの感想 (4件)	色々な学校でいろいろな不満や意見があって、自分だけが思っているわけではないこともたくさんありました。
	頑張ってください。
	最初は不安でしたが、やわらかい雰囲気でもとても楽しく意見が言えました。ありがとうございました。
	このような機会があって良かった。
今後の要望 (6件)	どんなに良いものでも知らないだけで損をしているのはもったいないので、行政だけでなく地域であったり、学校でのしっかりした知らせる場所や方法も作ってほしい。
	子どもたちがより過ごしやすい社会をつかってほしいです。学校などの校則もできるだけ反映してほしいです。
	自転車でコンビニなどに行ったときに、自転車を止める場所が分かりにくかったり、白線が消えかかっていたり、スペースが狭かったりするので、自転車置き場をよりよくしてほしいです。とても楽しかったです、ありがとうございました。
	もっと私たちのことを考えて、子どもも大人も住みやすい社会にしてほしいです。
	個人的に直接子どもに支援をするよりも、まず大人を支援してほしいです。長期的なスパンにおいて、有効なのは若年の大人からの支援だと思います。大人が豊かになることで、余裕が生まれ、豊かな教育水準で育てることができるので、優先順位を僕的には大人にすべきだと思いました。
一人の悪い子どもを見たら、すべての子どもが悪いと思うのはやめてほしい。子どもとしてではなく、一人の人間として見てほしい。	